



熊本から学ぼう！ 災害とボランティア

2016年に発生した熊本地震から5年。
大きな揺れが2日のうちに2回続くなど、記憶に新しい方も多いのではないのでしょうか。

本講座では、熊本の現地の方とオンラインでつなぎ、
当時の状況や現在の復興状況などをお話していただきます。
また、当時活躍した大学生ボランティアにも触れていただくなど、
災害ボランティアのイメージが少し変わるかも!?かもしれません。
ぜひ、みなさんで災害やボランティアについて考える時間にしましょう！

10月23日 (土)

14:00～16:00

開催方法：オンライン (Zoom)



対象：同志社大学生及び災害ボランティアに係る
パートナーシップ宣言大学の学生

定員：40名程度

メ切：10/20(水) 17:00

申し込み方法：

ボランティア支援室HPもしくは、
右記QRコードのフォームより申込



講師

熊本市社会福祉協議会
総務部長

宮原 栄志 氏



【講師プロフィール】

平成28年4月に熊本市市民活動ボランティアセンター所長となった14日目に熊本地震に遭遇し、熊本市災害ボランティアセンター副センター長として11月30日までの8カ月間最前線で指揮を執る。その後、九州北部豪雨災害(東峰村)、広島岡山豪雨災害(三原市)、佐賀豪雨災害(多久市)、熊本県南部豪雨災害(八代・人吉)では、熊本地震での経験を基に現地に支援職員として派遣され、現場での活動をサポートした。北海道、神奈川、大阪、沖縄にて地震で体験した内容を講演し、培った経験を基に災害ボランティア受付アプリを企画し、熊本県立大学と共同開発した。